



JASTメディカルデータセットについて

約**800万人**分の利用許諾を得たレセプトデータを出典元とした「**ICD-10**」別の集計データ（患者数、レセプト件数、主病寄せ医療費）を御提供しております。**性別**や**年代**といったパーソナルな項目、時系列でデータを追うことが出来るように**年月**を他項目として保持しております。

患者数



800 万人

レセプト件数



4.0 億件

JASTメディカルデータセット項目

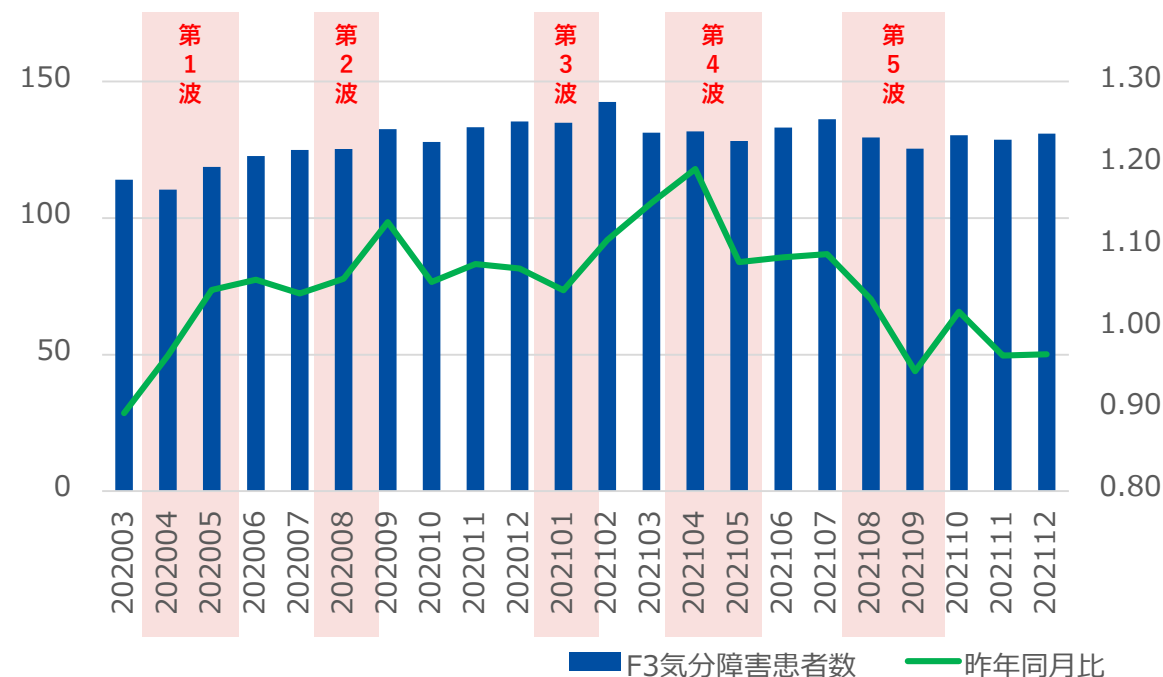
項目名称（和名）	変数名称	項目説明
診療年月	medtreat_month	201804、201805、201806…
ICD-10 単分類	icd10_dai	
ICD-10 中間分類	icd10_chu	ICD-10に準拠した設定値
ICD-10 3桁分類	icd10_sho	
性別	sex_type	01_男性、02_女性、99_その他
年代	age_kbn	01_9歳以下、02_10代…
医療機関都道府県	pref_type	01_北海道、02_青森県、03_岩手県…
レセプト件数	rezept_count	当該傷病が記載されたレセプト件数
患者数	patient_count	当該傷病と診断された患者数
主病寄せ医療費	syu_medical_cost	当該傷病を主傷病とした際の医療費
主病フラグ	syu_flag	主傷病として判定されたレセプトが1件以上ある場合のみ“1”

左記のようなデータ項目やイメージ、解析例についてはNII様のリリースに掲載されていますので下記QRコードからご参照ください。



最新の解析事例紹介

東京都のコロナ禍における気分障害に関するデータについて



共同研究先の大学様へ弊社データセットを活用し御提供させていただいた解析例です。コロナ禍における気分障害（躁鬱等）患者数の動きを見ています。**患者の同月比に関してコロナ禍が進むにつれ大きくなっている傾向が確認できます。**医療機関の受診控えが問われていた期間この傾向が出現しているのは気分障害の特徴のひとつと言えます。また**第5波を起点にその傾向が逆転し始めているような傾向もあります。**受診控えがここにきて現れたのか純粋に受診者数が減り始めたかについては要調査となります。